

事業概要シート

施策	1601	観光交流のまちづくり	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	シティプロモーション事業	新規	予算額	3,655 千円
事業期間	令和7年度 ~	財源内訳	<< >>千円	0
根拠法令要綱等			国庫支出金	1,358 千円
			県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
		一般財源	2,297 千円	

【事業の目的・概要・対象】

(目的)
 本市の豊かな自然や歴史と交通アクセスの良さを活かした各種イベント開催で、アウトドアアクティビティやグリーンツーリズム、体験型観光等、観光資源等の発掘とブラッシュアップを図るとともに、市の魅力を市内外へ広く発信する。

(概要)
 令和8年度の「SEA TO SUMMIT」(自然を体感しながら楽しむ環境スポーツイベント)の開催に向け、令和7年度から「SEA TO SUMMIT」実行委員会を設立し、他の実施自治体の視察やモンベル社との調整等、開催に向けた準備を進める。

「SEA TO SUMMIT(シートゥー サミット)」 **〈令和8年度秋頃の開催予定〉**

自然の循環を体感しながら楽しむ環境スポーツイベント

海:カヤック → 里:自転車 → 山:登山 チームまたは個人で

<効果>

- ・観光促進: イベントの開催により、多くの参加者や観光客が訪れ、市内観光業が活性化
- ・経済効果: 宿泊施設、飲食店、交通機関などの利用が増え、地域経済に貢献
- ・地域の認知度向上: メディアやSNSでの露出が増え、広く市が認知される
- ・環境意識の向上: 自然の大切さを再認識し、環境保護活動の促進

【背景】

本市は、交通アクセスが良く、美しい自然環境や歴史的・文化的な遺産、豊かな地元産品などを有しながら、それらを十分に活用しきれていない現状がある。
 豊かな自然環境を生かしたアウトドアアクティビティや観光資源、イベント開催を効果的にプロモーションすることで市の知名度向上につなげる。

担当課	企画政策部企画政策課地方創生推進室	課長	東 奈美
担当者	深江 美穂	問合せ先	0957-53-41111 (内線286)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	シティプロモーションブース出展回数	回	-	-	1	1	1
②	イベントの実施回数	回	-	-	-	1	-

【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	プロモーションブース来場者数	%	-	-	500	500	500
②	イベントの参加者数	人	-	-	-	300	-

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費				3,655	3,655	1,655	8,965
国庫支出金				1,358	1,358	746	3,462
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				2,297	2,297	909	5,503
人件費				1,514	8,966	1,514	11,995
職員(人)				0.20人	1.20人	0.20人	1.60人
時間外勤務(h)				30h	120h	30h	180h
会計年度任用職員(人)				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト				5,169	12,621	3,169	20,960

妥当性 (市の関与)	シティプロモーションは市が取り組むべきものである。SEA TO SUMMIT開催はモンベルフレンドタウンでしか開催できないため、市の関わりは必須である。
有効性 (施策貢献度)	自然を生かしたまちづくりの施策として非常に有効である。
効率性 (コスト)	必要最低限のコストで実施するよう計画している。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり